



安全はこの手で守る

ホテルオークラ東京

安全を徹底的に追及し、伝統美を備えた老舗ホテルを新築
大成建設株式会社

■ものづくり魂

石工
佐藤 隆さん
茨城銘石工業株式会社

■なでしこ Voice

水処理施設工事 営業・現場補助
朝蔭 唯さん
宇都宮工業株式会社

■学び舎のいま

東京建築高等職業訓練校

建設業の働き方改革

TOKYO 名所ウォーキング

ナイス! ミドル君

厚生労働省だより

一般社団法人東京建設業協会／建設労働者確保育成事業推進委員会



なでしこ Voice



ものづくり魂

東京都建設系高校生作品コンペティション2018

都内の高等学校建設系学科に学ぶ生徒の日頃の学習の成果を発表する場として、また広く一般の方々に建設に対する理解と関心を深めていただくことを目的として高校生が作成した作品を展示します。

皆様のご来場をお待ちしております。



ポスター部門最優秀賞 タイトル「未来への意志」
都立工芸高等学校インテリア科2年 亀井 優希

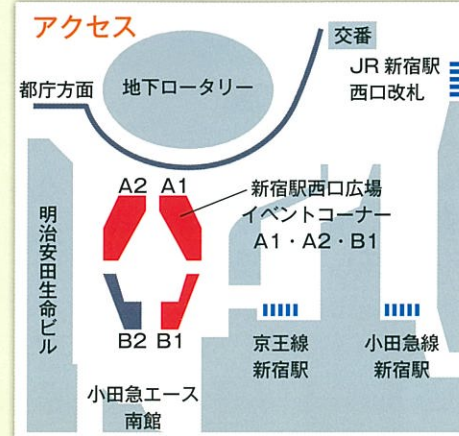
●出展校

都立葛西工業高校／都立蔵前工業高校／都立工芸高校／
昭和第一学園高校／都立墨田工業高校／都立総合工科高校／
都立田無工業高校／日本工業大学駒場高校／都立農芸高校

〈東建事務局からのお知らせ〉

日時 平成30年
12月6日(木)・7日(金)・8日(土)
10:00~17:00
(8日は16:00まで)

会場 新宿駅西口広場イベントコーナー
A1・A2・B1



■主催
一般社団法人東京建設業協会

■共催
東京都都市整備局

■後援
CCI東京(東京都魅力ある建設事業推進協議会)

2018年11月発行(年3回発行)VOL.115

Terra —建設雇用と改善 TOKYO—

発行：一般社団法人東京建設業協会
建設労働者確保育成事業推進委員会

〒104-0032 東京都中央区八丁堀 2-5-1
Tel:03-3552-5656 (代表) Fax:03-3555-2170
URL:http://www.token.or.jp/

編集後記

今号では、「安全はこの手で守る」でホテルオークラ東京の建て替え工事を紹介させていただきました。老舗ホテルの建て替えには、新しい中にも伝統と格式を感じさせるさまざまな気配りが込められていることを感じました。

東京2020オリンピック・パラリンピックに向け、各地で競技場や関連施設の建設が進んでいます。特にパラリンピックへの関心がこれまでになく高まり、施設建設の中でユニバーサルデザインのまちづくりが進展していくことが期待されています。

学び舎のいま

東京建築高等職業訓練校 実技教室

事務所：渋谷区神南1-3-10



藤森校長による墨付けの指導。
左の写真はプロが使うノミのセット



片桐前校長

取材当日は実技研修日で、学年ごとに分かれ、それぞれの課題に沿って実践的に学んでいる。そんな生徒たちの声を聞かせていただいた。

2年生の若生悠さん、水島州人さん、土屋勇人さんの若手3人は、「普段の仕事ではなかなかできない『墨付け・手ぎざみ』の技能が身に付くのがいい、きつと今後の仕事に役立つときがく

木造建築専門の職業訓練校

建築に関する職業訓練校の特化し、すでに建築系の職業についている若手のスキルアップを主な目的としている学校である。

2年を就業年限として、毎週土曜を中心に開校し、そのうち1か月に1日ないし2日を実技研修日として、現職大工の精鋭が教師となり実習を行っている。その他の土曜日は座学でさまざま建築技術・技能を学ぶ。2年間の研修で1級大工技能士を受検できる程度の実力を養成することが目標である。

取 材当日は実技研修日で、学年ごとに分かれ、それぞれの課題に沿って実践的に学んでいる。そんな生徒たちの声を聞かせていただいた。

「送り出す側も内容をしっかりと分かってほしい」と話す。志村将成さんは、不動産販売から建築も手掛けるようになった企業の現役社長。

「販売会社から事業拡大したため、社員の仕事を自分も知っておきたいと思った」と話す。共通して言えることは、建築業の世界がどんどんプレカッタ化しており、墨付け・手ぎざみを覚えるチャンスがほとんどなくなっていること。しかし大工として手で行う技能をしっかりと持っていることが、やはり技能職の基本だ。技能の本質を知っていなければ、プロになりきれないという思いだろう。

「建築全体でプレカッタの方向に進み、墨付け・手ぎざみの

共 通して言えることは、建築業の世界がどんどんプレカッタ化しており、墨付け・手ぎざみを覚えるチャンスがほとんどなくなっていること。しかし大工として手で行う技能をしっかりと持っていることが、やはり技能職の基本だ。技能の本質を知っていなければ、プロになりきれないという思いだろう。

仕事が減っている。時代の流れではあるが、職人が技能を持たなくていいわけではない。若手職人は先輩たちが習ってきた伝統的技術、わざを受け継いでいかなければならず、この学校はそういう数少ない場所といえる。道具も高価だが、若いうちに購入して、その使い方に習熟することに意味があると話す。

前校長の片桐さんは、サンガネの名人で、屋根の勾配の作り方を通して、その使い方を丁寧に教えていた。

最近多くなったリノベーションではプレカッタを使わない現場もあり、新しいニーズにあった、伝統的技術も求められているのである。



藤森嘉孝校長



志村将成さん



後田雅晴さん



若生悠、水島州人、土屋勇人さん

なでしこ Voice



水処理施設工事 営業 現場補助
あさかげ ゆい
朝蔭 唯さん
宇都宮工業株式会社
東京都江東区亀戸6-53-9 クロスビル5階



設備の更新に備え、管の寸法を確認する

技術者が力を発揮できるよう現場をサポート

東京都下水道局の水処理施設などで使用されている設備機器の更新計画や設計、施工、保守に携わる仕事をしています。

元々は事務職として入社しましたが、技術職経験者が営業を担当する当社では、営業のサポート役として事務員も現場に行くことが多く、同行するうちに現場調査や工事の立ち会いなども行うようになりました。現場調査では、交換する機器やバルブ、それらに付随する配管を実測し、簡単なスケッチを描いて、会社に持ち帰り積算担当者に見積もりを依頼します。

工事の立ち会いでは、危険予知活動に参加するほか、工事の過程を記録する写真の撮影も行っています。撮影箇所は、仕様書を見ただけでは気づかない場合があるため、工事の最初の段階で、「ここは撮っておいた方がいいという

場所があったら声をかけてください」とみなさんにお伝えしています。現場で一緒に働く協力会社の方々は、連携の大切さをよく理解されていて、いつも快く協力してくださっています。

昨年、大規模処理施設の工事に携わったときは、簡単な平面図やスケルトン図を作成したり、施工図と実物の寸法の誤差を確認したりと、作図の補助も行いました。大きな施設は配管も複雑で、一箇所にも何本も異なる配管が通っている場合があります。この配管を交わすために、ここを変えようなどと検討にも時間がかかり、丸一日現場で過ごす日も多々ありました。



正確な計測や記録もサポートの大切な仕事だ



図補助などを通じて、「できなかったことができるようになる」楽しさを日々実感しています。物事の仕組みを知ることが昔から好きで、その性格が今の仕事でも生かされている気がします。お客さまの質問に返答するために自分でも根拠を理解する必要があるため、強度計算などわからないことは納得するまでしっかりと調べています。

力仕事はできないですが、一つの工事の中でやるべき仕事はたくさんあり、専門の技術者が職務に集中できるように手伝うことも大切な仕事です。こういう場でも女性の力は大いに生かされると思います。